

観察・実験を通じた問題解決の力を育む 理科教育充実研修（小学校）

【講座のねらい】

「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について実感を伴った理解を深め、実践的指導力を高めることで、「問題解決の過程」を踏まえた授業改善を推進する。

【対象】 小学校教諭

【定員】 小24名

【研修日程・内容】

① 1h

9/4

遠隔型研修Ⅰ 「説明・協議」

- 課題の明確化
- STEAM教育との関連性

② 0.5h

9/5～9/26

オンデマンド型研修 「説明・講義」

- 理科教育の現状と課題
- 授業改善と評価の充実
- 実習のポイント

③ 2日間

(6.5h、6h)

10/3～10/4

集合型研修

「観察、実験等を行う実習」

- 「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」領域の観察、実験
- 実社会での問題発見・解決

10月～12月

職場実践

- 研修の成果を基に自校で行う授業実践

④ 2h



12/18

遠隔型研修Ⅱ 「実践交流」

- 実践成果発表及び交流

講師 ①②③④北海道立教育研究所職員、③酪農学園大学教授 金本 吉泰 氏

元理科教育センター職員

理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究